

常なる磐

つねなる いわ

令和3年2月12日(金)

◇ 秘密兵器②

秘密兵器の続編である。

「根こそぎ君」と名付けた秘密兵器は、進化している。進化とは、改良である。校務員の山田さんの手によって改良が加えられた「**ネ**根こそぎ君 NEO(ネオ)」。「**ネ**根こそぎ君 NEO(ネオ)」は、真の【救世主】になるかもしれない。

秘密兵器の改良について説明しよう。
右のイラストをご覧ください。

角材に65mmの長さの木ネジをねじ込む。
角材の厚みが20mm程なので、先端が45mmほど突き抜けた状態になる。(赤○)
イラストでは6本だが、実際には20本程度になる。

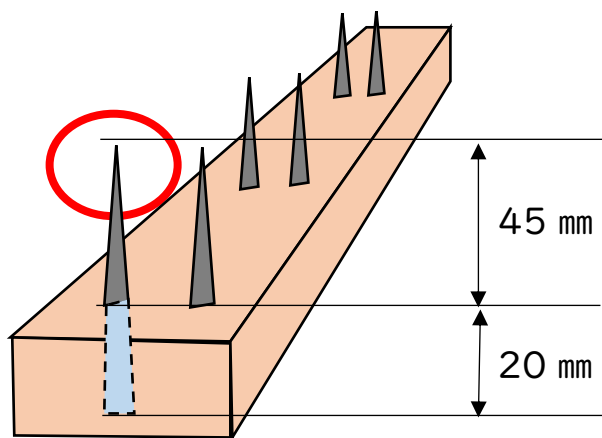
これをひっくり返し、「根こそぎ君」に装着したものが「**ネ**根こそぎ君 NEO(ネオ)」である。

軽トラックにつないで走行させれば、「木ネジの尖った先端部分が芝系雑草の根に引っ掛かり、根を分断して成長を止める」のがねらいだ。

もともと金属製の丈夫な爪(赤○)は付いているのだが、商品の目的があくまでも地均しであり、除草をねらいとしていないため、除草効果はそこそこあるといったところだ。

そこで、改良を加えるという手法に至ったのである。

ところで、冒頭で説明した追加改良した部分。分かりやすい写真ではなく、イラストとしたのには理由がある。(裏面へ)



▲改良前の「根こそぎ君」
赤○が元々ある金属製の刃

下の写真が重しを載せて 2 時間ほど走行した後の「**根こそぎ君 NEO(ネオ)**」である。



左の写真が全体像、右の写真は、細部がよく分かるように寄ったものであるが、ネジらしき突起は見当たらない。

右の拡大写真をよく見ると、**赤○**内に折れ曲がったネジが確認できるだろうか。丈夫なスチール合金のネジが直角に折れ曲がってしまっている。これはまだいい方で、半数のネジは根元から完全に折れてしまっている。

地中で張り巡る芝系雑草の地下茎に、完全に負けてしまったということである。

そこで、グラウンドの隅を 1 m 四方に掘り起こしてみても、びっくり仰天。

地表から深さ 10 cm 程の所まで、まさに地下茎が網目状に隙間なく張り巡らされた状態であった。正直、ここまでびっしりと根が張った状態は想像していなかったもので、本当に驚いた。しかも、下方に行くほど根は元気。

金属製のネジが曲がったり、もぎ取られたりするわけである。

しかし、グラウンドを掘り起こしてみても、新たな収穫もあった。

地下茎は横に伸び、10 cm 以上は下方に成長していかないことだ。それから東門付近の状況を見ると、雑草はまばらであることにも気づいた。

東門から出入りするのとは人ではなくほとんどの場合が車両である。しかも、頻りに車両の出入りがあるのではなく、保護者が来校し、グラウンドを駐車場として開放するなどの限られたごくわずかな場合でのみ。つまり、放置しなければ何らかの効果はあるのだ。深さ 10 cm は、あせらず徐々に対応してゆけばよい。

新情報を得て、「**根こそぎ君 NEO(ネオ)**」には、再改良を加える予定である。

ネジの長さを短くし、その代わりに本数を増やす。さらに、重し重量を調節して過度の負荷がネジに掛からないようにする。

やってみてダメなら、また再改良を加えればよい。

冬の成果は春に現れる。雑草に負けない粘りで頑張ろう。